

北海道の自然環境・文化の継承と、地域資源を活かした観光地域づくり

○ 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

空港の受入機能強化

- 新千歳空港では、除雪作業や航空機のトラブル等による滑走路の一時占有に起因する遅延や欠航が課題となっています。このため、誘導路複線化事業を実施し、冬期の航空機の安定運航を図るなど、航空ネットワークの拠点となる空港機能を強化し、旅行者の受入環境整備に取り組みます。

新千歳空港(冬期の現況)



整備イメージ

誘導路を複線化(新設)



航空利用に支障のない夜間に 舗装工事を実施しています



【末端取付誘導路複線化 施工状況】

令和6年度の実施(完了)状況

- 末端取付誘導路について、南北ともに完成。北側は令和5年6月15日、南側は令和6年11月28日にそれぞれ供用開始。
- 平行誘導路部については今年度予定していた調査は完了。次年度は設計を進める予定。
- 引き続き、早期供用開始に向け事業進捗を図る。

北海道の自然環境・文化の継承と、地域資源を活かした観光地域づくり

○ 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

ドライブ観光の推進

- 安全・安心で快適なドライブを支える道路や「道の駅」の整備、インバウンド観光を見据えた観光地案内や多言語による道路情報提供の充実、公共交通との連携強化等の取組を推進するとともに、観光地案内やエゾシカ衝突マップの配布などの道路情報提供の充実等に取り組みます。
- 令和4年4月に北海道開発局・北海道経済産業局・北海道地方環境事務所・北海道によるワーキングチームを設置し、道の駅設置者である市町村や道の駅管理者と連携し、「道の駅」に急速EV充電施設の設置を目指します。

【「エゾシカ衝突注意マップ」の更新】



【利用環境向上に向けた道の駅整備】



観光案内所設置
(道の駅「石狩「あいろーど厚田」)」

【道の駅への急速EV充電施設設置】



(道の駅「北風の風 道の駅とうべつ」)

令和6年度の実施（完了）状況

- エゾシカ衝突注意マップを更新し、ドライブ観光を推進。
- 引き続き、自治体や「道の駅」管理者と道の駅に求められる防災や観光、福祉など多様な社会ニーズへの対応に向けた意見交換を行う。

北海道の自然環境・文化の継承と、地域資源を活かした観光地域づくり

○ 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

「シーニックバイウェイ北海道」の推進

- 地域資源を最大限に活用した美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを目指し、「支笏洞爺二セコルート」「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」「空知シーニックバイウェイ-体感未来道-」の活動団体と協働した取組を推進します。
- 「世界水準」の観光地形成に向け、地域の活動団体がお薦めする魅力ある景観を有する道路を選定し、景観の維持・形成や誘客に向けた広報等を重点的に実施する＝シーニックバイウェイ「秀逸な道」について、令和5年度から本格的に展開しています。

「秀逸な道」

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート
(国道230号札幌市南区定山溪国有林L=10km)



「秀逸な道」の看板を設置
【国道230号「森を抜ける公園のような道」】



支笏洞爺二セコルートウエルカム北海道エリア
(国道453号千歳市幌美内国有林L=9 km)



「秀逸な道」の看板を設置
【国道453号「支笏湖ブルーに出逢う道」】



支笏洞爺二セコルートウエルカム北海道エリア



札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート



空知シーニックバイウェイ-体感未来道-



令和6年度の実施（完了）状況

- 令和6年度、空知シーニックバイウェイが新たにルート指定。
- 支笏洞爺二セコルート、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート「秀逸な道」を明示する看板を設置。
- 引き続き、活動団体等との連携のもと、地域と協働による取組を推進。

北海道の自然環境・文化の継承と、地域資源を活かした観光地域づくり

○ 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり 「かわたびほっかいどう」プロジェクトの推進

- 世界水準の観光地の形成を目指し、四季折々の川の自然環境や景観、水辺活動やサイクリング環境など河川空間が有するポテンシャルを活用したツーリズムを推進します。
- 川に関する情報の効果的な発信、住民や観光客の水辺利用や周遊のサポート、各地域・分野の関係者間のネットワーク強化による水辺利活用に係るニーズの発掘・マッチングの促進、地域と連携した魅力的な水辺空間の創出等により、地域づくり・観光振興に貢献します。

自然再生地におけるイベント(南幌町)

幌向地区自然再生地では、幌向湿原での体験イベントとして湿生植物の移植などを実施
(主催:ふらっと南幌 等)



**新桂沢ダムと三笠ぼんべつダムを
見に来ませんか？ 秋 2024**
ダム見学による見学会・意見交換会を開催します

見学会・意見交換会目的
北海道開発局が実施している舞鶴別川総合開発事業について広くご意見をいただくため、令和6年9月に完成した新桂沢ダムと、建設中の三笠ぼんべつダムの視察見学会及びダム等場についての意見交換会を実施します。

●期日/2024年10月19日(土) (少雨決行)
●新桂沢ダム(見学)・三笠ぼんべつダム建設現場(見学)
●意見交換会(登壇のご質問にお答えします【屋内】)
●見学会は7月27日に実施したものと同一内容です。
●参加/無料(キャンセル料あり) ●送迎員/同行 ●食事/なし
●募集人員/40名(応募多数の場合は抽選となります。抽選結果はホームページにて随時お知らせします。)
●応募期限/9月20日(金)14:00(10月1日(土)14:00まで)
●主催/北海道開発局札幌開発建設部 舞鶴別川ダム建設事業所
●利用/バス会社/札幌ばんけいバス、高田モーターズ
※募集対象・応募方法については、裏面をご確認ください。

旅行会社と連携したダム見学ツアー(三笠市)

令和6年3月に完成した新桂沢ダムと現在建設中の三笠ぼんべつダムの見学会を実施
(主催:幾春別川ダム建設事業所)



かわたびほっかいどう
エキテラ × 江別かわまち
雪の宝を探して景観フレンドリーな雪まつり
イベント会場
日時 2月8日(土) 18:00~20:00
イベント会場
江別かわまち
イベント会場変更のため、ソリ遊びの開催はありません
会場では撮影スポットやプレゼントも実施
主催:江別川事務所、道庁、かわたびほっかいどう、協賛:バスツアー旅行協会、協力:道庁建設工務部、江別市建設課土木工務課、舞鶴別川ダム建設事業所、中川建設(王子製紙水産物販売工務)、中川建設(土木事業)、江別川事務所管内管内建設工務課

江別市かわまちづくりとの連携(江別市)

江別駅周辺をアイスクャンدلで照らすイベントを実施
(主催:江別河川事務所)



令和6年度の実施(完了)状況

- 地元の団体等が主催する水辺イベントにおいてブースを出展し、河川部門「かわたびほっかいどう」、道路部門「シーニックバイウェイ北海道」、農業部門「『わが村は美しく-北海道』運動」等をPR
- バスツアー会社と連携したダム見学ツアーや意見交換会を実施。
- 石狩川流域の河川区間に関する見どころやイベント情報について「かわたびほっかいどう」公式HP等で情報発信
- 舞鶴遊水地を活用したタンチョウ観察・ものづくりツアーが民間会社主導で開催。
- 令和6年9月に、空知川幾寅地区において「MIZBEステーション」「かわまちづくり」の起工式を実施。



北海道の自然環境・文化の継承と、地域資源を活かした観光地域づくり

○ 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり 滝野すずらん丘陵公園におけるインバウンド観光の推進

- ▶ 「自然と人・人と人のふれあい」を基本テーマとし、多様なニーズに対応して四季を通じた利用促進を図るため、花フェスタ（チューリップ・すずらん等）、滝野スノーフェスティバル、森の中で音楽やソリ遊びを楽しむ森フェス等、様々な野外レクリエーション活動を展開するとともに、快適・円滑に公園を楽しむための環境整備を推進しています。

【花フェスタ(花修景施設 カントリーガーデン)】



インバウンド観光客の
花修景鑑賞
(チューリップ・すずらんフェスタ)
※写真は過年度のもの

【滝野スノーフェスティバル(滝野スノーワールド)】



※写真は過年度のもの



4カ国語版の
ガイドブックを作成

【滝野公園デジタルマップ】



現在地を把握可能

英語、中国語、
韓国語の3カ国語
に対応

【地下鉄駅構内の広告掲示】



令和6年度の実施(完了)状況

- 「4カ国語(英語、中国語、タイ語、韓国語)のHP」を作成するとともに、「4カ国語版ガイドブック」を作成、配布、「翻訳機等による公園案内」等の取組を継続実施。
- 令和7年2月より現在地や公園の各種施設情報などがスマートフォンで把握可能な「滝野デジタルマップ」を公開。3カ国語(英語、中国語、韓国語)に対応しており、インバウンド観光の利便性向上となっている。
- 令和6年度冬季のホワイトシーズン(12月~翌3月)は、令和6年12月22日から滝野スノーワールドとしてオープン。2月1日・2日には冬のアクティビティやスポーツ体験を楽しめる滝野スノーフェスティバルを開催。
- 札幌市と連携を図り、市営地下鉄駅構内の広告掲示による観光旅行者の来園に向けた働きかけを実施。

北海道の自然環境・文化の継承と、地域資源を活かした観光地域づくり

○ 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

公共空間の利活用による地域の活性化支援

- 「北海道“みりよく”発信プロジェクト」と題して、札幌駅前通地下歩行空間「チ・カ・ホ」（北1条エリア）において、道内各地の地域情報や「シーニックバイウェイ北海道」の取組を紹介するポスターの展示やパンフレットなどの配付を通じて、北海道各地の魅力ある地域の情報を発信しています。



ウポポイのPR



「シーニックバイウェイ北海道」
「秀逸な道」の取組紹介

令和6年度の実施（完了）状況

- 令和6年3月、6月、9月及び12月の計4回開催。
- 道内各地の「食」や「観光」、各地で開催されるイベントのほか、「ウポポイ」（北海道白老町）、「シーニックバイウェイ北海道」などの情報発信を通じて、地域支援、地域の活性化を推進。

北海道の自然環境・文化の継承と、地域資源を活かした観光地域づくり

○ 自然共生社会・循環型社会の形成

石狩川流域における生態系ネットワークの形成

- 石狩川流域の自然を次世代へつなぎ、動植物が安心して暮らせる「健全な生態系ネットワーク」の形成をめざして、河川での生物のすみかを守り・再生する取組を進めています。
- 地域の暮らしや産業と自然が共に生きることを目指して、令和5年度から「石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会」を立ち上げ、関係機関と連携して活動しています。
- 令和6年度には、タンチョウを象徴とした「タンチョウと共に暮らせる流域づくり協議会」を発足し、生息環境の保全と地域の魅力向上を両立させる取組を広げています。

学識者、北海道開発局、環境省、北海道、市町村、企業、団体等による健全な生態系ネットワークの形成の促進



第2回 石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会(令和7年2月)

- 当部が整備した千歳遊水地群に、タンチョウが毎年飛来しています。
- 令和6年度は、舞鶴遊水地(長沼町)などでヒナの誕生が確認されました。
- 空知総合振興局管内で実に100年以上ぶりのタンチョウのヒナ誕生となった令和2年から、5年連続でのヒナ誕生となります。



R6年5月
舞鶴遊水地で誕生したヒナ2羽



R6年10月 成長したヒナ

有識者、自治体、地域住民などと連携したタンチョウ保全活動の成果
(写真提供:タンチョウも住めるまちづくり検討協議会)

令和6年度の実施(完了)状況

- 生態系ネットワークの全体構想や、各地での取組の共有・拡大、情報発信などを担う広域的な連携の場として「第2回石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会」を令和7年2月に開催。
- 長沼町と当部が連携してきた「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」は、令和6年度から「タンチョウと共に暮らせる流域づくり協議会」として新たにスタート。新しい協議会は、ネイチャーポジティブの考え方やタンチョウの繁殖状況等を踏まえ、千歳川流域を軸とする石狩川流域の取組へと発展させ、持続可能な地域づくり及び健全な生態系ネットワーク形成に資することを目的としている。